

## 七夕冷やし茶わん蒸し

冷やして食べるミルク茶わん蒸し。  
お星さまに見立てたオクラが食卓を彩ります。



### 〈材料〉4人分

【A】	
明治おいしい牛乳	1/2カップ
水	2カップ
顆粒コンソメ	小さじ1
卵	2個
	★
オクラ	2本
ヤングコーン	2本
	★
【B】	
水	1カップ
顆粒コンソメ	小さじ1
	★
塩、こしょう	各少々
水溶性片栗粉	適量

### 作り方

1. ボウルに【A】を合わせて万能こし器で濾し、耐熱の器に4等分に入れてアルミホイルで蓋をします。
2. 蓋つきの鍋や深さのあるフライパンにふきんを敷き、1を並べます。器の半分の高さまで熱湯を注ぎ、蓋をして中火で2分蒸し、火を弱めて8分蒸します。中心まで火が入ったら粗熱を取って冷蔵庫で冷やします。
3. オクラとヤングコーンは小口切りにします。
4. 鍋に【B】と3を入れてひと煮立ちさせ、塩、こしょうで味をととのえて水溶性片栗粉でとろみをつけます。
5. 粗熱をとった4を2にかけます。

### このレシピで使用した商品



このレシピはスマートフォンからもご覧いただけます。



明治の食育 レシピは  
こちらから

明治の食育 おすすめレシピ

検索

株主のみなさまへ

## 第13期 報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

証券コード:2269

健康にアイデアを

meiji



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



PROJECT-  
With the Earth  
この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。

明治ホールディングス株式会社

# 株主のみなさまへ



代表取締役社長 CEO 川村 和夫

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、当期(2022年3月期)より「2023中期経営計画」をスタートさせました。基本コンセプト「明治ROESG<sup>※</sup> 経営の実践」に基づき、利益成長とサステナビリティ活動の同時実現に向けて、以下の重点課題に取り組んでいます。

1. 事業戦略
  - (食品セグメント) (1) コア事業の成長力の回復  
(2) 海外展開の強化
  - (医薬品セグメント) (1) ワクチン事業の強化  
(2) 受託製造/受託製造開発 (CMO/CDMO) 事業の強化
  - (グループ全体) 新領域への挑戦
2. ROICの活用による経営管理体制強化
3. 成長投資の継続と強固な財務基盤構築の両立
4. サステナビリティ2026ビジョンの着実な実行

当期は、新型コロナウイルス感染症による世界経済や国内消費動向への影響が続いたことに加え、原材料価格やエネルギー

コスト高騰により、厳しい環境下での事業展開となりました。

食品セグメントでは、国内において消費者の健康や栄養に対する意識が変化する中で、新たな需要を確実に捉えるべく、コア事業に経営資源を重点的に投下し、売上拡大に取り組みました。海外では引き続き中国における生産販売能力を強化し、次の成長の柱となる事業育成に取り組みました。

医薬品セグメントでは、ヒト用ワクチン事業の強化と海外事業の伸長に取り組みました。感染症領域のトップメーカーとして、当社グループが持つ感染症に関する高い技術・設備や豊富な経験を活用し、外部の研究機関と協力の上、新型コロナウイルス感染症の不活化ワクチン開発と生産体制の整備を進めました。また、事業基盤の強化と新薬の創出に向けて経営資源を集中するため、当社の持分法適用関連会社であるDM Bio Limitedの株式全部や農薬製造販売事業を譲渡するなど、構造改革を推進しました。

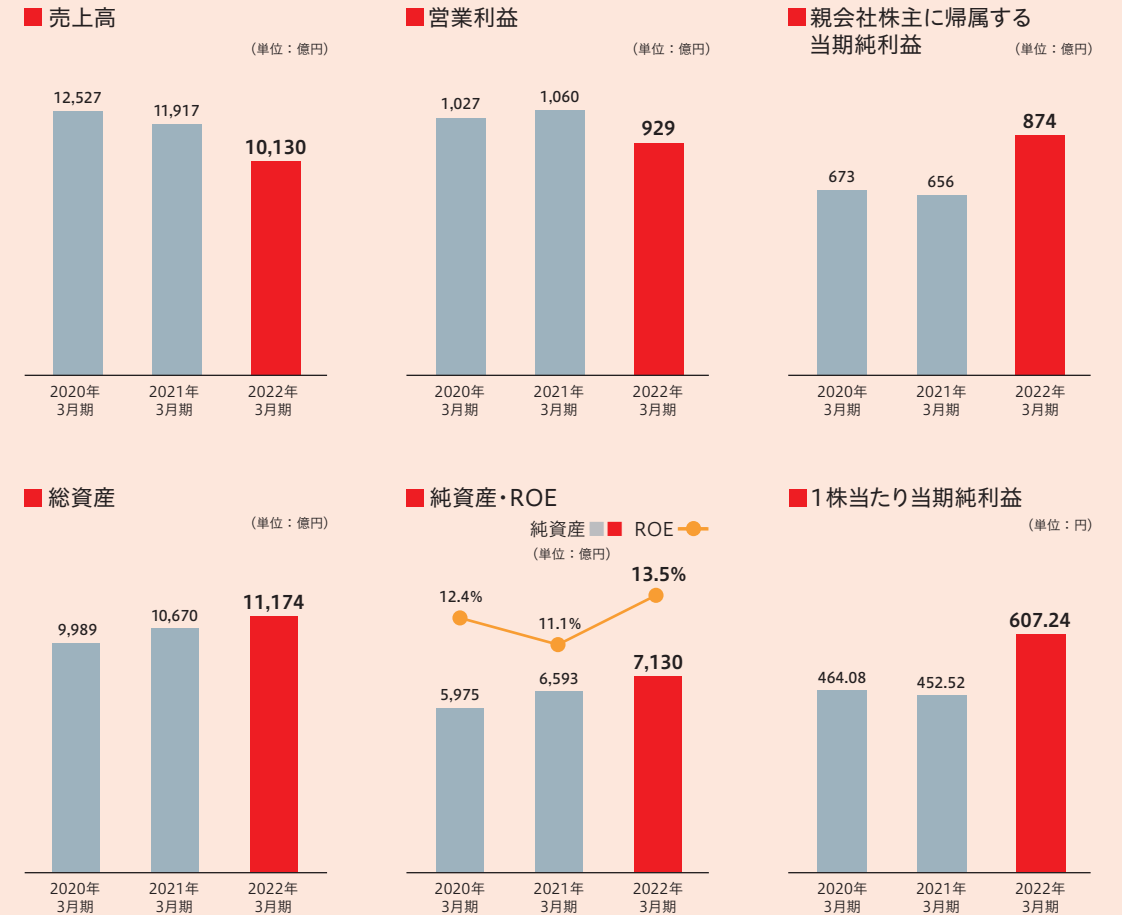
この結果、当期の売上高は1兆130億92百万円(前期比15.0%減)、営業利益は929億22百万円(同12.4%減)、経常利益は939億85百万円(同14.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は874億97百万円(同33.3%増)となりました。また、ROEは13.5%、EPSは607.24円となりました。

なお、当期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、当期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。参考として、前期の売上高にも当該会計基準等を適用した場合、当期の売上高は前期比0.6%増となります。

当期の配当金については、期末配当金を1株当たり金90円とさせていただきます。この結果、年間配当額は中間配当金と合わせて1株当たり170円、連結配当性向は28.0%となります。また、当期は株主のみなさまへの一層の利益還元と資本効率の向上を目的として約300億円(約431万株)の自己株式を取得し、2022年3月31日に消却いたしました。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結業績ハイライト



(注) 1. 当期(2022年3月期)より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、当期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値を記載しております。  
2. 2021年3月期において、2020年3月期に実施した企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した数値を記載しております。

※「ROESG」は一橋大学・伊藤邦雄氏が開発した経営指標で、同氏の商標です。



## セグメント別概況のご報告

### 食品セグメント（株式会社 明治）

売上高は、「収益認識に関する会計基準」等を適用した影響により、前期を大幅に下回り、8,260億円となりました。前期にも当該会計基準等を適用した比較では、前期並みとなりました。当該会計基準等を適用する前の事業別売上高の比較では、業務用食品事業、海外事業は前期を大幅に上回り、ニュートリション事業やチョコレート・グミ事業、その他・国内子会社は前期を上回りました。前期の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による特需の反動などにより、ヨーグルト・チーズ事業や牛乳事業、フローズン・調理食品事業は前期を下回りました。

営業利益は、宣伝費などのコストコントロールに努めましたが、原材料コスト増やエネルギーコスト増に加え、ヨーグルト・チーズ事業の減収の影響により、前期を大幅に下回り、759億円となりました。

#### ヨーグルト・チーズ事業

■売上高は前期を下回りました。体調管理意識の高まりや巣ごもり消費で好調に推移した前期の反動に加え、競争激化の影響によりプロバイオティクスは大幅な減収となりました。またヨーグルトやチーズも減収となりました。



■営業利益は、減収や原材料コスト増の影響により前期を大幅に下回りました。

#### ニュートリション事業

■売上高は前期を上回りました。スポーツプロテイン「ザバス」は、運動不足解消ニーズの高まりや顧客層の拡大により増収となりました。乳幼児ミルクや流動食も好調に推移しました。



■営業利益は、原材料コストや販促費、減価償却費などが増加しましたが、増収により前期を上回りました。

売上高

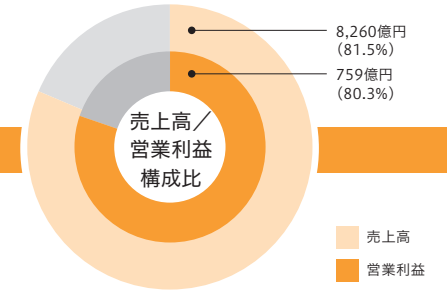
8,260億円

(前期比：17.4%減)

営業利益

759億円

(前期比：13.1%減)



(注)当期(2022年3月期)より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、当期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値を記載しております。参考として、前期(2021年3月期)の売上高にも当該会計基準等を適用した場合、当期の売上高は前期比0.1%減となります。

#### チョコレート・グミ事業

■売上高は前期を上回りました。チョコレートは前期並みとなりましたが、前期に通勤・通学時やオフィスでの需要減少で苦戦していたグミが前期を大幅に上回りました。



■営業利益は、原材料コストや減価償却費などが増加しましたが、増収により前期を上回りました。

#### 牛乳事業

■売上高は前期を下回りました。巣ごもり消費で好調に推移した前期の反動に加え、品目数削減の影響などにより減収となりました。



■営業利益は前期より改善しました。減収の影響を販促費や生産体制の見直しによる経費削減によってカバーしました。

## セグメント別概況のご報告

### 業務用食品事業

- 売上高は前期を大幅に上回りました。外出自粛の影響で需要減となった前期の反動で、業務用クリーム、業務用乳製品が大幅な増収となりました。
- 営業利益は、物流費や販促費が増加しましたが、増収により前期を大幅に上回りました。



### フローズン・調理食品事業

- 売上高は前期を下回りました。前期の家庭内需要の反動により、バター・マーガリン類が減収となりました。また、前期の反動に加えて、天候不順の影響を受けたアイスクリームも減収となりました。
- 営業利益は、コストコントロールに努めましたが、減収や原材料コスト増の影響により前期を大幅に下回りました。



### 海外事業

- 売上高は前期を大幅に上回りました。中国の牛乳・ヨーグルト事業は減収となりましたが、アイスクリーム事業は大幅な増収となりました。加えて、新規連結の子会社が2社増えたことも寄与しました。
- 営業利益は、中国事業強化のため人件費やマーケティング費用が増加したことに加え、中国における牛乳・ヨーグルト事業の減収、米国事業での原材料コスト増の影響などにより、前期を大幅に下回りました。



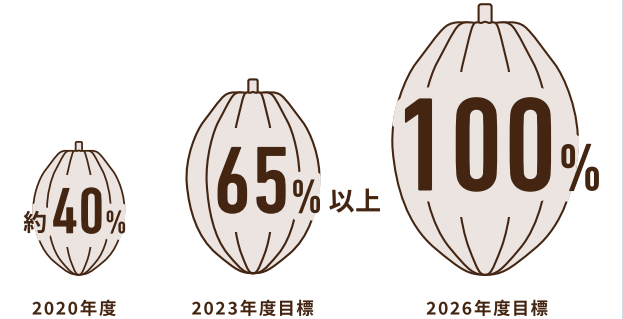
### その他・国内子会社

- 売上高は、物流子会社1社が株式譲渡により連結対象子会社から除外された影響がありましたが、糖類を取り扱う商社や飼糧子会社などの増収により、全体では前期を上回りました。
- 営業利益は、増収により前期を上回りました。

## トピックス

### 「明治サステナブルカカオ豆」調達比率100%を目指して

明治グループは調達するカカオ豆について、2026年度までに、農家支援を実施した地域で生産された「明治サステナブルカカオ豆」の調達比率100%を目指しています。本目標の達成を通して、森林減少や児童労働、栽培技術の周知不足など、カカオ豆の生産地域や農家が抱える課題を解決し、持続可能なカカオ豆生産の実現に貢献していきます。



### 実現に向けたアクション



#### メイジ・カカオ・サポート

2006年に始まった明治独自のカカオ農家支援活動「メイジ・カカオ・サポート」では、9カ国のカカオ産地に直接足を運び、現地の農家のさまざまな課題に合わせた支援を行っています。



#### 外部パートナーとの支援活動

世界中の外部パートナーと手を取り合い、カカオ農家への物質的/技術的支援、児童労働・強制労働撲滅、そして森林保護など、多岐にわたるアクションを行っています。



#### 森林保全活動

10年以上にわたり、カカオ豆の共同品質研究を行うブラジル・トメアスーのカカオ農家とともに森をつくる農業「アグロフォレストリー農法」に取り組んでいます。



<https://www.meiji.com/sustainability/cocoa/>

明治ホールディングスの「サステナブルカカオサイト」では、「明治サステナブルカカオ豆」調達比率100%実現に向けたアクションの詳細や、カカオに関わる社員のインタビューを掲載しています。ぜひご覧ください。





## セグメント別概況のご報告

### 医薬品セグメント (Meiji Seika ファルマ株式会社 KMバイオロジクス株式会社)

売上高は、「収益認識に関する会計基準」等を適用した影響により、前期を下回り、1,879億円となりました。当該会計基準等を適用する前の事業別売上高の比較では、国内医薬品事業、海外医薬品事業は前期を上回りました。ヒト用ワクチン事業は前期を下回りました。農薬・動物薬事業は、農薬事業を譲渡した影響で、前期を大幅に下回りました。

営業利益は、ヒト用ワクチン事業が大幅な増益となり、海外医薬品事業も増益となりましたが、国内医薬品事業が大幅な減益となったことで、前期を下回り、186億円となりました。

#### 国内医薬品事業

■売上高は前期を上回りました。前期に新型コロナウイルス感染症拡大による医療機関受診患者数減少の影響を受けた抗菌薬や新型コロナウイルス抗原検査キットが増収になりました。また、アストラゼネカ社の新型コロナウイルスワクチンの保管・配送・安全性情報収集に関する受託収入も寄与しました。



■営業利益は、薬価改定の影響を受けたことに加え、研究開発費の増加などにより、前期を大幅に下回りました。

#### 海外医薬品事業

■売上高は前期を上回りました。中国の子会社は新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により減収となりましたが、インドの子会社は受託製造事業が好調に推移し、増収となりました。



■営業利益は、インドの子会社の増収などにより、前期を上回りました。

#### ヒト用ワクチン事業

■売上高は前期を下回りました。B型肝炎ワクチン「ビームゲン」の減収や、プレパンデミックインフルエンザワクチンの受託製造がなかったことが影響しました。インフルエンザワクチンは好調に推移し、アストラゼネカ社の新型コロナウイルスワクチン製剤化に関する受託収入も発生しました。



■営業利益は、アストラゼネカ社の新型コロナウイルスワクチン製剤化に関する受託収入やコスト低減などにより、前期を大幅に上回りました。

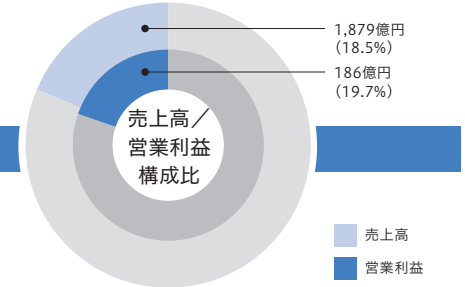
#### 農薬・動物薬事業

■売上高は、第4四半期に農薬事業を譲渡したことで前期を大幅に下回りました。



■営業利益は、動物薬事業の減収などにより前期を下回りました。

(注)2022年1月に、農薬製造販売事業を三井化学アグロ株式会社に譲渡しました。また、2022年4月に、明治アニマルヘルス株式会社を設立し、KMバイオロジクス株式会社とMeiji Seika ファルマ株式会社がそれぞれ保有していた動物薬事業を承継しました。



(注)当期(2022年3月期)より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、当期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値を記載しております。参考として、前期(2021年3月期)の売上高にも当該会計基準等を適用した場合、当期の売上高は前期比3.2%増となります。

## トピックス

### 新型コロナウイルス感染症に対する国産ワクチン開発に取り組んでいます

ワクチンの開発には通常約10年かかるとされていますが、明治グループでは長年蓄積してきたノウハウを活かし、今までにないスピードで新型コロナウイルス感染症に対する不活化ワクチンを開発しています。

現在、2022年度内の供給を目指し、2022年4月から始まった成人第3相臨床試験、小児第2/3相臨床試験を進めています。また、2021年12月には不活化ワクチンの品質試験を行う新棟が竣工し、開発と並行して製造設備を整備しました。



開発の様子

不活化ワクチンは、小児の定期接種ワクチンなどとして長年の実績があり、副反応が比較的少ないワクチンです。このワクチンが開発できれば、接種率が低くとどまっている若年層や子どもたちも安心して接種することができ、日本全体の接種率向上に貢献できると考えています。

明治グループは感染症領域のリーディングカンパニーとして、安全で有効な国産ワクチンを一日でも早く国内に供給できるように取り組んでいきます。

もっと知りたい方はこちらをチェック！

当社のホームページでは、「meijiらしい健康価値」の創造に取り組む姿を伝える動画「ウェルネスストーリー」を掲載しています。不活化ワクチンの開発責任者も登場しますので、ぜひご覧ください！



URL: <https://www.meiji.com/beliefs/stories/covid-19.html>

### こころとからだの健康に寄与する商品を世界中のお客さまにお届け！

明治グループでは、中国、東南アジア、欧米を重点エリアとして、海外展開の強化に取り組んでいます。

2022年2月には、タイで当社が開発した世界初のキューブタイプの粉ミルクを発売しました。計量が要らない、粉がこぼれない、持ち運びやすいといった利便性により、育児負担の軽減に貢献します。

また同年3月には、健康意識の高まる台湾で、プロテインの日本トップブランドである「ザバス」を発売しました。

中国では来年以降、天津や広州で新たな工場が生産を開始する予定です。今後もmeijiらしい健康に資する商品を世界中にお届けし、事業成長と健康課題解決に貢献してまいります。



タイで発売した  
キューブタイプの粉ミルク  
「Meiji GU FORMULA  
GOLD EZcube 3」



台湾で発売した  
プロテイン「ザバス」

### 株主さま向けオンラインセミナーのご案内

明治グループへのご理解を深めていただく機会として、株主さま限定のオンラインセミナーを開催します。スマートフォン・PCから参加可能ですので、ぜひお気軽にご参加ください。

#### オンラインセミナーの概要

**対象者** 2022年3月31日現在、  
当社株式を保有の株主さま

**開催日時** 2022年7月20日(水)  
15:00~16:00

**内容** ①明治グループ会社説明会  
②オンライン工場見学

**参加費** 無料

**お問い合わせ先**  
明治ホールディングス株式会社「株主さま向けオンラインセミナー」係  
電話 03-3273-3917 受付時間 9:30~16:30(土・日・祝日を除く)

※本セミナーはシスコシステムズ合同会社が提供する「WebexEvents」を用いて開催します。 ※インターネット接続にかかる通信料は株主さまのご負担となります。 ※ご利用のインターネット環境によっては専用のアプリが必要となる場合があります。 ※「QRコード」は(株)デンソーウェアの登録商標です。

#### 参加方法

1. 以下のいずれかの方法で登録用サイトにアクセスしてください。

(スマートフォンより)

QRコードよりアクセス



(PCより)

- ① <https://www.webex.com/ja/index.html> にアクセス (Webexで検索してください)
- ② 画面上部の「ミーティングに参加」をクリック
- ③ ミーティング情報「25127223692」を入力

2. 開催前日までに登録用サイトに氏名・メールアドレスを登録してください。 ※登録は先着3,000名さままでです。
3. 登録したメールアドレスに参加用URLが送付されます。



## 新製品のご紹介

### 明治プロバイオヨーグルトR-1 ドリンクタイプ 満たすカラダ鉄分/カルシウム

毎日の体調管理をベースに、生活で不足しがちな栄養素「鉄分」と「カルシウム」をそれぞれ配合し、低糖・低カロリータイプ・甘さひかえめな毎日続けやすいあじわいです。



### 明治ブルガリアヨーグルト (900g)

ドリンクタイプの明治ブルガリアヨーグルトが続けやすいあじわいに生まれ変わりました。脂肪0をはじめ自分に合った商品が見つかる4種を展開しております。



### 明治なめらか6Pチーズ 燻製かつお風味

優しいかつお節の香りとチーズのコクが感じられるとともに、原料チーズの絶妙な配合で実現した、やわらかなめらかな食感を楽しめる6Pチーズです。



### 明治ミラフル 粉末飲料 ストロベリー風味

幼児期の成長に重要な栄養を手軽においしくとることができます。鉄・亜鉛・カルシウム・ビタミンDと、幼児の元気なカラダづくりをサポートするOLB6378菌を配合した乳製品のアタマにとっても大切なDHAを配合しています。



### 明治ミラフルドリンク ヨーグルト味

幼児期の成長に重要な栄養素(鉄・亜鉛・カルシウム・ビタミンD)と、幼児の元気なカラダづくりをサポートするOLB6378菌を配合した乳製品乳酸菌飲料(殺菌)です。



### ピスタチオチョコレート

ピスタチオ特有の食感や香りを味わえる、ホールナッツが丸ごと入ったチョコレート。華やかな香りのペルー産カカオにピスタチオペーストを加え、コク深く仕上げました。



### 厳選素材のきのこの山/ たけのこの里/ きのこたけのこ袋

きのこの山は玄米粉を入れたクラッカー、たけのこの里は薫り高いヘーゼルナッツを入れたクッキーを使用。ベネズエラ産カカオ豆を使用した甘さひかえめのチョコレートです。



### 明治 チョコレート効果 CACAOアイス

カカオの華やかな香りと上質な苦み特徴のアイスです。1カップで、チョコレート効果 CACAO72%5枚分のカカオポリフェノールを摂ることができます。



### (ザバス)MILK PROTEIN 脂肪0 フルーツミックス風味

ミルクプロテインを20g配合し、独自の速攻吸収製法で吸収速度を高め、すっきりと飲みやすいフルーツミックス風味でカラダづくりをサポートするプロテインドリンクです。



### ザバス プロテインバー チョコレート味

プロテイン15gと5種のビタミンを配合したプロテインバーです。独自製法により、しっとりサクサク食感を実現しました。おいしさにこだわったチョコレート味です。



### 即攻元気ゼリー クエン酸&ビタミンCレモン風味/ エネルギー&マルチビタミンマスクット風味/ 鉄分&マルチビタミン ぶどう風味

パワーと元気をチャージする「即攻元気」ブランドのゼリー飲料で、さまざまなニーズにマッチした栄養をおいしく即攻チャージすることができます。



### 明治それいけ!アンパンマンの やわらかりんごゼリー/ ぶどうゼリー

りんご(ぶどう)の果汁をたっぷり50%使用した果汁本来の甘さが楽しめる、お子様も飲みやすいやわらかタイプのゼリー飲料です。



### 明治ブルガリア フローズンヨーグルトデザート

LB81乳酸菌を使用したアイス専用ヨーグルトを配合することで、なめらかなコクとすっきりした後味を両立した、フローズンヨーグルトデザートです。



### まるごと野菜 豆と野菜のキーマカレー1個入

1食分の野菜(生換算120g)が摂れる冷凍のキーマカレーです。トレイ入りなのでお皿を用意せずにお召し上がりいただけます。発芽玄米入り、着色料・香料不使用。



### 医療機関専用サプリメント 「meiQua(メイキュア) EPA1000」

Meiji Seika ファルマの新規ビジネス 医療機関専用サプリメントの第一弾製品です。こころからだの健康に着目し、患者さんに不足しがちなオメガ3脂肪酸(EPA)などの栄養成分をエビデンスに基づいて配合したオールインワンサプリです。



### アレルギー性疾患治療剤 「ピラノア.OD錠20mg」

アレルギー性鼻炎や皮膚疾患治療薬のピラノア錠の新しい剤型として、口腔内崩壊錠(OD錠)を発売しました。水なしで、どこでも服用が可能な製品です。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	2021年3月期 (2021年3月31日現在)	2022年3月期 (2022年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,328	67,409
受取手形及び売掛金	177,730	173,949
商品及び製品	117,445	119,316
仕掛品	4,054	3,993
原材料及び貯蔵品	60,488	61,720
その他	28,353	29,307
貸倒引当金	△2,347	△85
流動資産合計	426,053	455,611
固定資産		
有形固定資産	454,994	483,491
無形固定資産	15,992	18,150
投資その他の資産	169,959	160,206
固定資産合計	640,946	661,848
資産合計	1,067,000	1,117,459
負債の部		
流動負債	253,011	286,811
固定負債	154,630	117,626
負債合計	407,642	404,438
純資産の部		
株主資本	597,282	632,873
その他の包括利益累計額	24,145	40,462
非支配株主持分	37,930	39,684
純資産合計	659,358	713,021
負債純資産合計	1,067,000	1,117,459

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2021年3月期 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	2022年3月期 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)
売上高	1,191,765	1,013,092
売上原価	742,139	689,843
売上総利益	449,625	323,249
販売費及び一般管理費	343,563	230,327
営業利益	106,061	92,922
営業外収益	6,936	5,387
営業外費用	2,821	4,323
経常利益	110,176	93,985
特別利益	2,180	50,780
特別損失	9,174	16,310
税金等調整前当期純利益	103,183	128,455
法人税等	33,102	36,068
当期純利益	70,080	92,387
非支配株主に帰属する当期純利益	4,424	4,890
親会社株主に帰属する当期純利益	65,655	87,497

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2021年3月期 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	2022年3月期 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,683	127,526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,110	△27,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,293	△76,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	△378	2,931
現金及び現金同等物の増減額	1,901	25,844
現金及び現金同等物の期首残高	37,110	39,011
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	16
現金及び現金同等物の期末残高	39,011	64,872

(注)当期(2022年3月期)より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、当期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値を記載しております。

# 会社概要 / 株式の状況 (2022年3月31日現在)

## ◆ 会社概要

商号	明治ホールディングス株式会社 (英文名:Meiji Holdings Co., Ltd.)
事業内容	食品、薬品等の製造、販売等を行う子会社等の経営管理 およびそれに付帯または関連する事業
本社所在地	東京都中央区京橋二丁目4番16号
設立	2009年4月1日
資本金	300億円

## ◆ 役員紹介 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長 CEO	川村 和夫	兼務 ㈱明治 取締役 兼務 Meiji Seika ファルマ(株) 取締役
取締役執行役員 COO(医薬品セグメント)	小林 大吉郎	兼務 Meiji Seika ファルマ(株) 代表取締役社長 兼務 KMバイオロジクス(株) 代表取締役会長
取締役執行役員 COO(食品セグメント)	松田 克也	兼務 ㈱明治 代表取締役社長
取締役専務執行役員 CFO	塩崎 浩一郎	兼務 Meiji Seika ファルマ(株) 取締役 兼務 KMバイオロジクス(株) 取締役
取締役専務執行役員 CSO	古田 純	兼務 ㈱明治 取締役
取締役(社外)	松村 真理子	
取締役(社外)	河田 正也	
取締役(社外)	久保山 路子	
取締役(社外)	ピーター・D. ビーダーセン	
執行役員	谷口 茂	兼務 ㈱明治 取締役専務執行役員
執行役員	松岡 伸次	
執行役員	松本 有平	
監査役(常勤)	千田 広秋	兼務 KMバイオロジクス(株) 監査役
監査役(常勤)	大野 高敬	
監査役(社外)	渡邊 肇	
監査役(社外)	安藤 まこと	

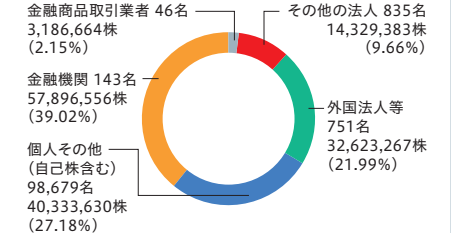
## ◆ 株式の状況

発行可能株式総数  
560,000,000株

発行済株式の総数  
148,369,500株

株主数  
100,454名  
(自社含む)

## ◆ 所有者別



## ◆ 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	24,170	16.29
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,034	4.74
日本生命保険相互会社	3,348	2.26
農林中央金庫	2,892	1.95
明治ホールディングス従業員持株会	2,669	1.80
明治ホールディングス取引先持株会	2,654	1.79
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	2,521	1.70
株式会社みずほ銀行	2,417	1.63
株式会社りそな銀行	2,117	1.43
JP MORGAN CHASE BANK 385781	1,708	1.15

(注)上記の他に、当社が7,548千株(持株比率5.09%)保有しております。

## ◆ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日 定時株主総会3月31日 ※別途定める場合は、予め公告します。
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.meiji.com/">https://www.meiji.com/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。なお、会社法第440条第4項の規定により、決算公告は行いません。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。

## 株主さまへのご優待

- 対象となる株主さま  
毎年3月31日現在の明治ホールディングス株式100株以上ご所有の株主さま
- ご優待の内容  
ご所有株式数に応じて、明治グループ製品詰合せを毎年10月末頃にお届けいたします。

ご所有株式数	ご優待内容
100株以上	2,000円相当
500株以上	3,500円相当
1,000株以上	5,000円相当



3,500円相当の優待品の例です。  
(実際の優待品と異なる場合があります。)

※株主さまのご意志により、優待品のご送付に代えて同等品を福祉団体等へご寄贈いただくことも選択できる株主優待品寄贈選択制度も設けております。